

えべつ 社協 だより



2014

4月



北海道内社会福祉協議会
イメージキャラクター

【No.173】



大麻東小学校4年生 総合学習「手話講座」

「ゲー、チョキ、パー」でごあいさつ

社協では、「福祉出前講座」を実施しており、小中学校の総合学習の時間に職員を派遣したり、テーマに沿った講師を紹介しています。2月3日には、大麻東小学校4年生の総合学習の時間に行なわれた

手話講座のお手伝いをしました。

講座は、手話講習会運営委員会の協力で行われ、聴力に障がいのある会員が講師となり、声をかけられたことに気付かず“無視した”と勘違いされた体験談や、「ゲー（おはよう）」「チョキ（こんにちは）」「パー（ありがとう）」を使った手話でコミュニケーションを取りながら、楽しく学習しました。

社会福祉法人 江別市社会福祉協議会

☎069-0811 江別市錦町 14 番地 87 江別市総合社会福祉センター内
☎ 011-385-1234 FAX 011-385-1236
ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>
メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp



社協だよりにも
役立てられています

26年度は、第2期地域福祉実践計画(22年度)の最終年度となり、5カ年計画の総合点検をしながら、地域福祉の充実に向けた活動を展開します。

特に、地域社会における新たな福祉・生活上の課題に対応するため、福祉サービスの利用や日常生活費の管理に不安を抱えている方をサポートする日常生活自立支援事業の業務委託、災害時の救援ボランティア活動の普及・啓発に取り組み、より身近な地域での「暮らしの安心」につなげる体制づくりを進めてまいります。

このほか、給食サービスでは、4月からの消費税の改正により、1食あたりの増税分20円のうち、利用者の負担軽減を図り、市が半額の10円を負担します。市は増加分を含め160円を助成し、利用者は500円から510円の利用料となります。

また、現地域福祉実践計画が今年度で終了することから、地域の福祉力を高めるための具体的な運営・事業方針となる『第3期地域福祉実践計画(27～31年度)』を策定します。

26年度資金収支予算

サービス区分	26年度予算 (単位:千円)
法人運営事業	69,615
社会福祉基金運営事業	52,789
調査・研究事業	1,100
広報事業	5,881
顕彰事業	130
江別ふれあい福祉の広場事業	1,523
ボランティアセンター事業	5,455
住民福祉推進事業	239
愛のふれあい交流事業	7,233
福祉バス運行事業	5,586
給食サービス事業	60,748
福祉除雪サービス事業	28,224
除雪派遣サービス事業	3,460
福祉機器貸与事業	503
移動支援事業	3,691
福祉サービス利用援助事業	390
共同募金事業	8,483
生活福祉資金貸付事業	3,435
福祉金庫貸付事業	9,070
総合社会福祉センター運営事業	110,381
北光保育園運営事業	25,863
野幌季節保育所運営事業	6,309
内部取引相殺額	△42,264
合計	367,844

※社協では、26年度から社会福祉法人新会計基準を採用するため、前年度との比較表示はしていません。

第2期地域福祉実践計画 基本計画ごとに26年度の主な実施事業概要をご紹介します

基本計画

1 地域の福祉課題の把握や福祉サービス利用を円滑にする仕組みづくり

社協だよりの発行

5,881千円

社協だより「幸せな社会」を年4回発行(4月・7月・10月・1月)、市内自治会加入の全世帯に配布。

日常生活自立支援事業

390千円 NEW

道社協から業務を受託。生活支援員が訪問し、福祉サービス利用援助や日常生活費の管理を支援。《3頁参照》

基本計画

2 ボランティア活動で進める福祉環境づくり

ボランティアセンターの運営

5,455千円

ボランティア活動の相談・登録・派遣。人材育成・研修。団体活動費助成。活動交通費補助。災害救援ボランティアの活動支援。

福祉センターの管理・運営

110,381千円

地域福祉の拠点施設として運営。施設老朽化による改修計画に基づき、外壁タイルの全面張替工事を実施。《3頁参照》

基本計画

3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動

愛のふれあい交流事業

7,233千円

ひとり暮らし高齢者などへの安否確認・交流活動を行う自治会を支援。活動資金・ボランティア保険料の費用を助成。

江別ふれあい福祉の広場

1,523千円

スポーツレクリエーションを7月19日(土)東野幌体育館、江別ふれあい福祉の広場を7月20日(日)福祉センターで開催。

基本計画

4 体験学習、研修による福祉意識づくり

地域活動者研修会

55千円

高齢者へ支援活動を行って自治会関係者などを対象に、地域福祉活動の知識・技術を学習する研修会を開催。

福祉施設体験学習

365千円

青少年に高齢者や障がい者と交流できる機会や活動体験できる場を提供。ワークキャンプ、ハーフデイボランティアスクールを開催。

基本計画

5 自立した生活を支援するサービスの提供

除雪弱者への支援

31,976千円

高齢者・障がい者世帯へ除雪サービスを提供(福祉除雪サービス・除雪派遣サービス)。「えべつ雪の処理情報誌」を発行。

生活困窮者への支援

16,671千円

生活困窮世帯へ各種貸付(生活福祉資金・特別生活資金・福祉金庫)相談と支援。歳末たすけあい募金による見舞金贈呈。

基本計画

6 地域福祉推進のための組織づくり

新地域福祉実践計画の策定

742千円 NEW

第2期計画が終了することに伴い、引き続き地域福祉の充実を図るため、『第3期地域福祉実践計画』を策定。《3頁参照》

地域福祉実践計画の進行管理

60千円

総務部会・地域福祉部会が、実践計画が適正に推進されているかを評価。今年度は第2期計画5カ年の総合評価も実施。

初乗り最初の1.6kmまで 620円 介護タクシー

ケアタクシー ケイ

車いすに乗ったままで出かけよう!

基本乗降介助料 玄関前階段3段程度まで 無料です!!

全国介護タクシー協会会員 運輸局許可番号 北自旅二第317号

☎011-378-6065

江別市ゆめみ野南町2番地の2 (応相談)

営業時間/8:00~18:00 定休日/日曜・祝日・年末年始

まずはお電話ください

お墓の新規建立・リフォーム・移転工事

★江別市営墓地 当社施工実績 1500基以上★

- ◆当社のお墓は、耐震工法による安心施工です。
- ◆当社は、専門資格を有する「石材技能士」が施工します。
- ◆15年の安心施工保証付 ◆『安心石材店の会』加盟店

北海道知事許可 石第13850号

(有)上光石材工業 TEL (011)383-1232

- 本社・展示場 江別市牧場町1-21 ◆ http://www.j-stone.co.jp
- 工場 江別市工業町21-33 ◆ 墓石メモリアルローン取扱店



1 日常生活自立支援事業

26年4月、北海道社会福祉協議会から業務を受託

福祉サービスの利用手続きや生活費の管理が一人では難しい場合、「生活支援員」が訪問して、日常生活の心配ごと、困りごとの相談を受けながら、福祉サービスを利用する手続きのお手伝いや、日常生活費管理のお手伝いをします。

この事業は、1回(1時間程度)の利用で、1,200円の利用料金に生活支援員の交通費実費を加算した額(生活保護を受けている方は無料)の費用がかかります。

また、社協では、当事業のサービスを提供する「生活支援員(ページ下参考)」を募集しています。

①福祉サービスの利用援助

- 福祉サービスについての情報提供や利用手続きのお手伝い
- 利用している福祉サービスの苦情を解決するためのお手伝い



生活支援員が訪問して、生活の困りごとや心配ごとのご相談を受けます。

②日常的な金銭管理サービス

- 公共料金の支払いや年金受領の確認、預金からの生活費の払い戻しなど、日常的なお金の管理のお手伝い



生活支援員が訪問して、銀行から生活費を払戻すお手伝いや、生活費の使い方をアドバイスします。

③書類等の預かり

- 定期預金通帳や年金証書など、無くしては困る大切な書類の預かり



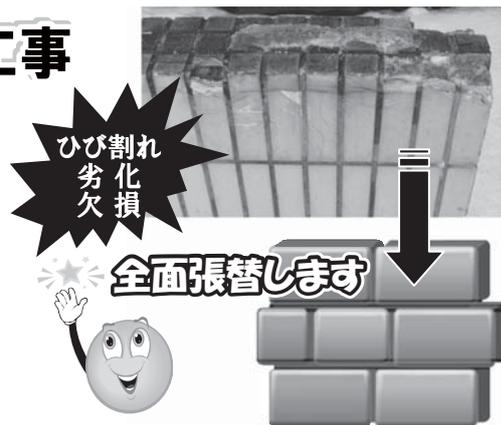
金融機関の貸金庫でお預かりします。(別途料金)

2 総合社会福祉センター大規模改修工事 外壁タイルを全面張替

江別市総合社会福祉センターは、施設の長寿命化を図るため改修等年次計画(隔年実施)に基づき、建物や設備機器の老朽化に対応した大きな改修工事を行っています。

26年度は、外壁タイル全面張替改修工事を実施します。工事にかかる財源は、市補助金と社会福祉基金積立金です。

工事日程などは、事前にお知らせします。騒音や振動の発生も考えられ、センター利用者並びに周辺住民の皆様にご迷惑をおかけする場合もあろうかと存じますが、ご理解とご協力をお願いします。



3 第3期地域福祉実践計画(27年度~31年度)の策定

第2期計画の評価結果検証・アンケート調査を実施し、新計画に反映

26年度は、第2期地域福祉実践計画(22年度~)の最終年度にあたるため、現計画の評価を検証するとともに、自治会や福祉団体などを対象に「地域福祉に関するアンケート調査」を実施し、これらの結果を踏まえ、江別市が策定する地域福祉計画(期間は実践計画と同じ)と整合性を図りながら、第3期地域福祉実践計画(27年度~31年度)を策定します。

【地域福祉実践計画と地域福祉計画の関係図】



損保ジャパン代理店
保険サービス
ジャパニーズエージェンシー

大切な保険のこと保険専門店でご相談！
営業品目 自動車・火災・傷害・生命保険

お問い合わせ・ご相談は通信料無料の
0120-74-0433

【営業時間】月~金9:00~19:00 土13:00まで
有限会社イー・エス・オフィス 〒069-0824東野幌本町19-1

白樺通り沿い
江別泌尿器科さん
向い

舗装工事、堀工事、除排雪等承ります
技術と信頼を誠意で築く

特定建設業 (一般土木) 清光建設株式会社
江別市野幌美幸町31番地8
TEL(011)383-8241
FAX(011)383-3042



ボランティア「カルタ」で地域の新発見！

【ボランティア活動者研修会】1月27日、ボランティア41名が、江別創造舎(田口智子代表)が作成した「江別カルタ」を使って、地元の知識を学びました。江別市の歴史や文化がギッシリ詰まったカルタで楽しみながら、新しい発見がたくさんあったようです。



多くの市民が福祉に目を向け、理解と関心を持つことが地域福祉推進の基盤になります。

研修を通して福祉意識づくりを推進しました。

地域福祉活動のポイントは **チャーハンづくり**

【地域福祉活動者研修会】3月5日、47名の自治会関係者らが参加し、地域活動が機能するためのポイントや効果的な展開手法を学びました。講師の岡田直人氏(北星学園大学教授)は、「地域福祉活動は、あるものでおいしいチャーハンをつくることに似ている。既存のもので何がつかれるかアイデア勝負」と述べていました。



働く人と地域をつなぐ **企業** の社会貢献活動！

札幌信用金庫社会福祉基金

「ボランティア推進に」10万円を助成

一般財団法人札幌信用金庫社会福祉基金は、昭和56年に札幌信用金庫が創立60周年を記念して設立した「地域の社会福祉の向上」を目的とした法人です。

昨年12月、札幌信用金庫江別支店(木村秀裕支店長:写真右)は、同基金の平成25年度助成事業の一環として、「社協のボランティア事業へ」10万円を助成しました。同基金からの助成は12年連続です。



北海道コカコーラ(株)

清涼飲料水のクリスマスプレゼント

昨年12月、北海道コカ・コーラボトリング株式会社(俵谷真二チームリーダー:写真右)は、福祉施設へのクリスマスプレゼントとして、清涼飲料水466本を寄贈しました。

今回で46回目となった贈り物は、社協を通じて市内10施設へ届けられ、「施設のクリスマス会で利用します」と大変喜ばれました。



江別ロータリークラブ

「市民のために」車いす5台を寄贈

昨年12月、江別ロータリークラブ(金田一夫会長:写真右)は、社会貢献活動の一環として、介助用車いす5台(20万円相当)を社協に寄贈しました。例会の席上で、金田会長から「市民のために役立ててください」と車いすを手渡された北口社協事務局長(写真左)は、「使いやすい車いすを寄贈してもらいありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。



湯の花 江別殿

介護老人福祉施設へタオル100枚を寄贈

昨年12月、株式会社アースキュア 湯の花 江別殿(倉賀野大志副支配人:写真右)は、社会貢献活動の一環として、タオル100枚を社協に寄贈しました。

社協を通じて 静苑ホーム、誠志苑、ひだまり大麻、夢あかりの市内4介護老人福祉施設へ届けられ、感謝の声が寄せられました。



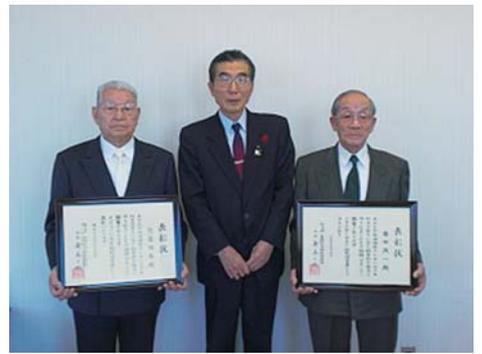
全国社会福祉協議会
会長表彰
受賞

社会福祉施設勤続30年以上 永年勤続功労

菊田さん 惣蔵さん 「子育て環境整備に尽力」
比留間さん 「障がい者の福祉向上に貢献」

市内社会福祉施設の役職員を30年以上務めた3名が平成25年度全国社会福祉協議会会長表彰を受賞し、昨年12月17日、福祉センターで湯浅会長から表彰状が手渡されました。

受賞者は、保育園を運営する社会福祉法人江別わかば福祉会前理事長の菊田政一(きくたまさいち)さんと現理事の惣蔵福春(そうくらふくはる)さん、社会福祉法人長井学園で障がい者施設指導員を務める比留間清文(ひるまきよふみ)さんです。表彰状を手にした菊田さんと惣蔵さんは「将来を担う子どもたちのために行ってきたことが認められて感慨深い。多くの人に支えられ受賞できたことに感謝します」とお話しされていました。



伝達式に出席し、湯浅社協会長(中央)から手渡された表彰状を手にする菊田さん(右)と惣蔵さん(左)

除雪
ボランティア

日本武道学舎本部



高齢者住宅を除雪し安全に

2月16日、空手と合気道を教える日本武道学舎(大麻ひかり町)は、今年で14回目となる除雪ボランティアに取り組みました。道場生12名は、高齢者が多く住む新栄団地の重い雪の塊を武道で鍛えたパワーで、安全に居住できるよう除雪しました。

とわの森三愛高校



学校周辺の見通しの悪い交差点など除雪

2月5日、とわの森三愛高校2年生170名が同校周辺の文京台・大麻地区の交差点、ごみステーション、消火栓周りなどの除雪をしました。固くなった雪を削り、除雪をする生徒たち。寒さにも負けず元気いっぱいボランティアに取り組みました。



歳末
たすけあい

赤い羽根共同募金

私が**募金**する理由。

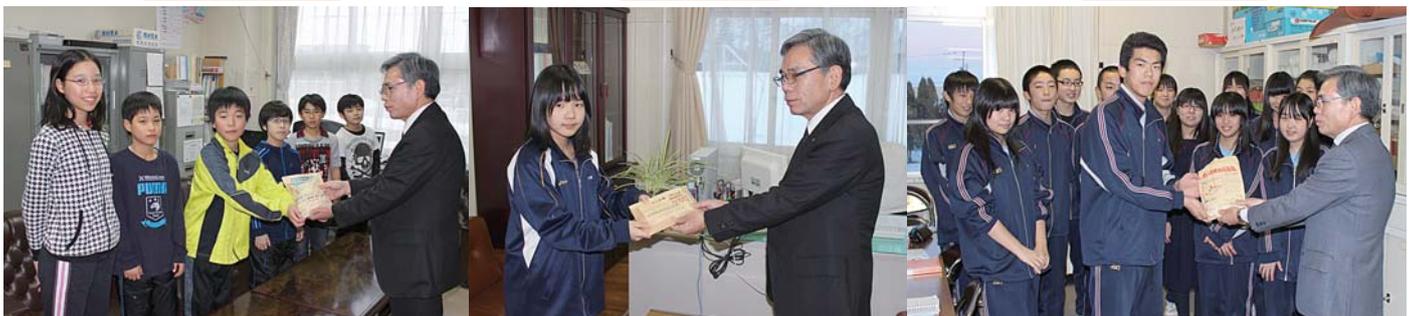
「自分のまちをもっと元気にしたい」「困っている人を助けたい」
一人ひとりのやさしい気持ちが、ひとつひとつのやさしいアクションにつながっています。
やさしさに込められた強い思い、それが募金する理由です。

25年度募金の最終実績・寄付者・助成先は、折込「募金結果報告」に掲載しています。

東野幌小学校

第一中学校

江陽中学校



【評価結果総括表】※基本計画の内容は2ページ参照

基本計画	評価	事業への主な指摘事項
1	4	●第3期地域福祉実践計画の策定に際しての「アンケート調査」は、よく内容を検討のうえ実施のこと。 ●愛のふれあい交流事業は実施自治会増などの成果があったが、結果の検証に努め、今後も実施に向けて積極的に働きかけること。 ●福祉バス老朽化に伴う今後の運行のあり方を江別市と協議すること。
2	4	
3	4	
4	4	
5	4	
6	4	

全基本計画着実に推進

第2期地域福祉実践計画

2月21日、社協合同部会が第2期地域福祉実践計画の25年度進捗状況の1回目評価(5点満点、3点が基準)を1月末日現在の実績に基づき行いました。全6基本計画は全て4点の高評価、個別事業では47事業全てが3点以上で、その内2事業が5点、29事業が4点の評価を受けました。除雪派遣サービスでの作業員確保、えべつ雪の処理情報誌の早期発行など前年度指摘事項の改善や愛のふれあい交流事業での成果指標を上回る実績が好評価の要因となりました。一方、今後の事業運営のあり方については、上記総括表のとおり指摘を受けました。

災害ボランティアセンター運営マニュアルを策定

詳細はホームページ

江別市地域防災計画 II
「災害ボランティアセンターの運営は社協が担う」

昨年5月、江別市は東日本大震災を契機として、従来の水害中心の防災・災害対策から地震に対する考え方を盛り込んだ新しい「江別市地域防災計画」を策定しました。この計画の中で、「社協は災害ボランティアセンターの役割を担う」ことが明記され、大規模災害が発生した場合、江別市災害対策本部がセンター設置を決定し、社協が運営することが示されています。東日本大震災被災地では、多くの社協がセンター運営の中心になり、市内外から訪れるボランティア活動内容を調整し、被災者のニーズに対応する役割を担いました。本市では、本年2月に「災害ボランティアセンター運営マニュアル」を策定し、社協が市・関係機関の協力のもと、スタッフ、財源及び活動用資機材を確保し、円滑に運営することなどを定め、災害に備えた事前準備をすすめています。

災害用炊き出し釜

防災訓練で使用できます
ごはん約150杯つくれます



行事用テント

たて 3.6m・よこ 5.6m
高さ(足の長さ) 1.8m



無料 イベント用物品 貸出します

社協事業のお知らせ

申請受付 愛のふれあい交流事業

自治会が行う地域での助け合い活動に助成します。

《愛のふれあい活動》

ひとり暮らし高齢者などへの安否確認活動に年額1万円を助成

《地域交流の集い活動》

高齢者などのために実施する交流事業に1事業につき1万5千円(年5回まで)を助成 ※その他、ボランティア活動保険料、行事用保険料の補助有

医) 英生会 野幌病院 JR野幌駅前 TEL382-3483

介護老人保健施設 老健のっぼろ	TEL 381-1133
老健のっぼろ通所リハビリテーション	TEL 381-1177
地域医療連携室	TEL 381-2643
指定居宅介護支援事業所 のっぼろ	TEL 381-8858
訪問看護ステーション のっぼろ	看護科 TEL 381-7877
	訪問リハビリテーション科 TEL 381-1193
英生会グループホーム ゆめみの	TEL 391-3119
小規模多機能ホーム ゆめみの	TEL 391-3229
江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業)	TEL 389-5420

給食サービス

食事の支度が困難な高齢者などへ夕食をお届けします。



高齢者向けにカロリー計算された食事(概ね500~600kcal)です。糖尿食・透析食もご用意できます。
*市が160円を補助しており、1食**510円**でご利用できます。

問合せ先 ☎385-1234

医療法人 友愛会 友愛記念病院

内科・心療内科・精神科・リハビリテーション科・歯科

(療養・認知専門) 江別市新栄台46番地1
TEL(011)-383-4124 <http://www.yuainen.or.jp/>

訪問看護ステーション ゆうあい
お気軽にご相談ください。 TEL(011)-380-5678

お客様のニーズが我が社の仕事です

チラシ・ハガキ・封筒・DM・記念誌・その他印刷全般

SKA 有限会社 アスカ印刷

TEL (011) 382-6388

〒069-0801 江別市中央町29番地33 FAX(011) 382-6382

税の優遇

個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

社協だより 幸せな社会 ⑥



ボランティアによる相談

社協ボランティアセンター登録の相談活動を行う団体による相談です。相談料は無料。

ナヤミゼロ

10時～15時 ☎389-7830

悩みごととテレホン相談

火・金曜日

家庭生活の諸問題に関する相談。電話相談のみ。江別家庭生活カウンセラーグループと江別市家庭問題研究会が相談を受けます。

にここ相談室

水曜日

家庭生活の諸問題に関する相談。面談可。江別市家庭問題研究会が相談を受けます。

認知症の悩みごと相談

木曜日

認知症の悩みごとに関する相談。面談可。江別認知症の人の家族を支える会が相談を受けます。

福祉センターからのお知らせ

開館日時
月曜日 9時～17時
火～日曜日 9時～21時
※月曜日が祝日の日は、休館します。火曜日から日曜日は、祝日も開館します。

4月～6月の休館日

5月5日(月)は、終日休館です。

善意のご寄付 ありがとうございました

(平成25年12月1日～平成26年2月28日
敬称略・順不同)

社会福祉基金

▶▶趣旨に賛同して

(有)藤山工業 20,000円、大前知子 10,000円、江別地区保護司会 2,000円、匿名 10,000円

▶▶チャリティ・イベントの益金・売上金等
江別フオークダンスサークル 47,637円

一般寄付金

▶▶趣旨に賛同して

菅原真知子 5,000円、江別友の会 20,000円、西田豊真 5,000円

▶▶チャリティ・イベントの益金・売上金等
北陽美術協会 15,400円、デッサン倶楽部・リメイクの会 30,145円、ファームイン江別実行委員会 60,200円

▶▶娘が生前お世話になったお礼として
西後 昇 10,000円

▶▶事業活動資金として

札幌信用金庫社会福祉基金 100,000円

東日本大震災義援金

(江別市共同募金委員会窓口受付分)

**17,342,656円(2/28現在の)
義援金が寄せられています。**

(株)原始林観光 7,989円、あすか就労継続支援施設 1,834円、西田豊真 5,000円、総合社会福祉センター 359円

【12月】★江別聴力障害者協会・えべつ手話の会・大麻手話の会の合同クリスマス交流会

★小路流民謡尺八道師範加藤高氏江別市民芸術文化功労賞受賞記念祝賀会★
全社協会長表彰伝達★江別市国民健康保険運営協議会★江別市高齢者クラブ連合会友愛活動員忘年会★江別市子育てひろばオープンセレモニー★札幌信用金庫社会福祉基金からの寄付金受領及び感謝状贈呈★国際センター&市民活動センター・あい年忘れ交流会

【1月】★経済関係団体新年賀詞交歓会★江別青年会議所新年交礼会★江別市高齢者クラブ連合会新年交礼会★大麻・文京台地区新春交礼会★江別市退任民生委員児童委員感謝状伝達式★江別工業団地協同組合新年交礼会★江別市遺族会新年会★江別市芸能赤十字奉仕団新年交礼会★江別市母子会新春の集い★江別更生保護女性会新年懇談会★文京台歌謡教室新年会★江別地区保護司会新年交礼会★北海道社会福祉協議会地域部会総会 【2月】★花のある街並みづくり講演会★江別地区保護司候補者検討協議会★江別市民憲章推進協議会常任委員会★江別耳の日記念集会★江別市社会福祉審議会

任期満了に伴い

社協役員・評議員改選



正副会長は再任

写真左から、湯浅國勝会長、佐藤 功副会長、田原久美子副会長

26年2月改選による

役員・評議員をご紹介します。

(敬称略・順不同)

【理事】平成28年2月27日まで
阿部晃治、阿部 実、粕谷堅一郎(以上、江別市自治会連絡協議会)、堀田佐智子(江別市赤十字奉仕団)、蛭名悦子(江別市女性団体協議会)、後藤一昭(江別商工会議所)、三橋満和子、島貫敏明、笹川幸男(以上、江別市民生委員児童委員連絡協議会)、原田昭彦(江別市健康福祉部)、佐藤泉明(江別市民間社会福祉施設連絡協議会)、工藤祐三(江別市ボランティア団体連絡会)、金田敏雄(江別市共同募金委員会)、小笠原 保(江別市高齢者クラブ連合会)、佐藤 功、田原久美子、湯浅國勝、北口 彰(以上、学識経験者)

【監事】平成28年2月27日まで
高田末雄(江別市自治会連絡協議会)、小山千賀子(江別市民生委員児童委員連絡協議会)、中橋憲昭(江別市民間社会福祉施設連絡協議会)

【評議員】平成28年2月25日まで
宮川 林、河治 昭、内藤和幸、深瀬禎一、福田三行、村瀬 脩、大原嘉弘、松本 光、小原克嘉(以上、江別市自治会連絡協議会)、加藤美佐子(江別市赤十字奉仕団)、工藤多希子(江別市女性団体協議会)、小野ひろみ(江別更生保護女性会)、吉田雄策(江別商工会議所)、荻野 薫(道央農業協同組合)、飯塚正美、山田昌次、荻野富雄、森池多恵子、奥山邦勝、村山韶宏(以上、江別市民生委員児童委員連絡協議会)、今田英徳、上岡そのみ(以上、江別市民間社会福祉施設連絡協議会)、真島紀恵子、白石幸八、沼田幸枝、佐藤レイ子(以上、江別市ボランティア団体連絡会)、五十嵐幸江(江別地区保護司会)、佐藤正勝(江別市共同募金委員会)、佐保寛志(江別身体障害者福祉協会)、村山清貴(江別聴力障害者協会)、川口紀子(江別手をつなぐ育成会)、秦裕美(江別地区こばを育てる親の会)、松井秀子(江別あすか福祉会)、星 忠雄(江別市高齢者クラブ連合会)、相田サト(江別市母子会)、鳴海征夫(江別市遺族会)、斉藤俊彦(江別市教育委員会)、石川日出男(江別市子ども会育成連絡協議会)、古川淳子(えべつ協働ネットワーク)、森田弘之(学識経験者)



大麻沢町16丁目自治会

和気あいあい 楽しいひとときを過ごしました

大麻沢町16丁目自治会は、愛のふれあい交流として、7月19日に江別警察署安全課による「防犯に関する講話」、9月5日に江別市消防署大麻出張所による「防火・地震に関する講話」、10月5日にプロのヴァイオリニストによる「秋のミニコンサート」を実施しました。
 毎回催し終了後には懇談会を行い、皆さん和気あいあいとおしゃべりをし、楽しいひとときを過ごしながらかつ交を深めました。



昨年7月、児童自立支援施設
向陽学院で



SGU江別BBS会

明るく楽しくボランティア!

私たちBBS会は、札幌学院大学(SGU)のボランティア団体です。
 主な活動は、年に約4回づつ近郊の児童自立支援施設及び児童養護施設への訪問、更に「江別地区社会を明るくする運動」への協力などです。
 社協のボランティア団体へも登録し、施設での行事補助、赤い羽根や歳末たすけあい募金活動への参加など、地域でのボランティア活動も行っています。特に、昨年6月からは、江別市母子会の依頼を受け、学習支援活動として、ひとり親家庭の小中学生を対象とした「えべつ土曜塾」(毎月3回)に携わっています。

また、昨年1月には、江別市青少年のための市民会議から「江別市青少年善行賞」をいただき、活動の励みになりました。
 活動内容など詳細は、下記にお問合せください。



2月18日江別市役所、佐々木雄二副市長を訪問し、活動報告

▶問合せ先 ☎080-6054-5243 (山中)
 E-Mail go.go.sgu.ebetsu.bbs@hotmail.co.jp

ボランティア保険のご案内

社協(☎385-1234)

くわしくは、

- 【補償期間】 平成26年4月1日～平成27年3月31日
 【年間保険料】
 ・基本タイプ A 300円 B 450円
 ・天災タイプ(基本+地震・津波・噴火) 天災A 460円 天災B 690円

「BBS」とは「Big Brothers and Sisters movement」の略称です。悩みを持つ、あるいは、非行に走ってしまった子どもたちの「お兄さん・お姉さん」のような存在として、一緒に学び、楽しみながら自立や成長のお手伝いをする全国的に組織があるボランティア団体です。

先冬の冬季オリンピック・パラリンピックでは、多くの感動と子どもたちに大きな夢を与えていただきました。出場した選手たちの「たくさんの人に支えられて」とコメントしているのが印象的でした。
 社協の事業も多くの市民に支えられて推進していると、一人の力では成し得ないことが、多くの人が関わることにこそ、多くの目的が具体的形にあらわれることを改めて思い知らされました。
 この「幸せな社会」も微力ながら社協と市民の架け橋として支えあうまちづくりの思いを果たしているものと、いえます。更なる市民に親しまえる広報誌づくりを努めてまいります。
 26年度は、第2期地域福祉実践計画の最終年度になることをお願いたします。

広報編集委員会委員
 星 忠雄



社会福祉協議会のご案内

